



IXIL サーモス 横すべり出し窓 オペレータータイプ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリーナ釘で枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

■取付け上のお願い

- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
- 連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

**■サッシ枠の
フレ・ツツミ**

L2-L1	A
3	1.5

L1-L2	B
3	1.5

**■サッシ枠
対角差**

C
2

**■サッシ上下枠の
内反り・外反り**

L1-L2	D
3	2

L2-L1	E
3	1.5

**■サッシ枠の
ねじれ**

F
2

**■サッシ枠の
室内外の反り**

H1
1

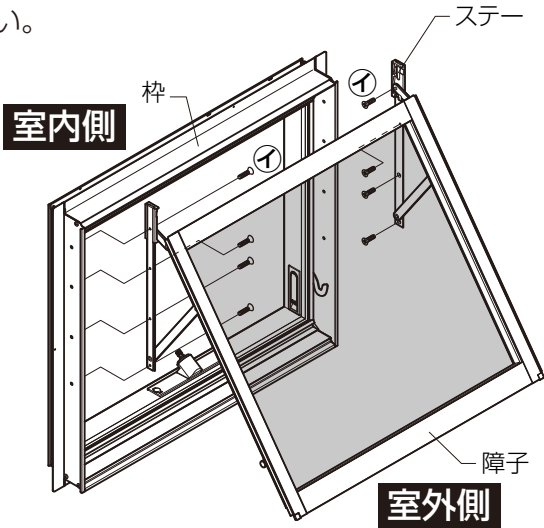
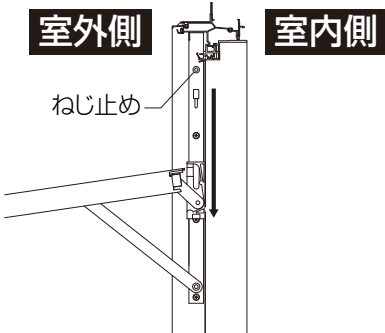
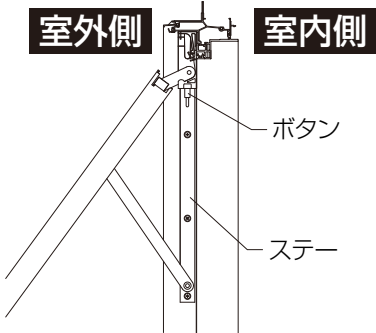
H2
1

■部品・ねじ一覧表

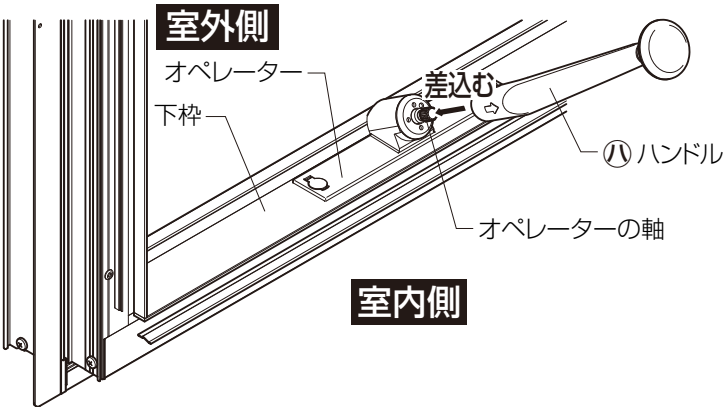
記号	①	㊸	記号	㊹
姿図			姿図	
使用部位	ステー	枠		オペレーターハンドルセット

■障子・ハンドル取付け

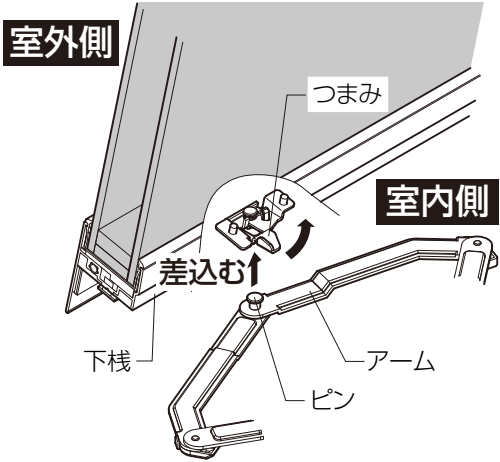
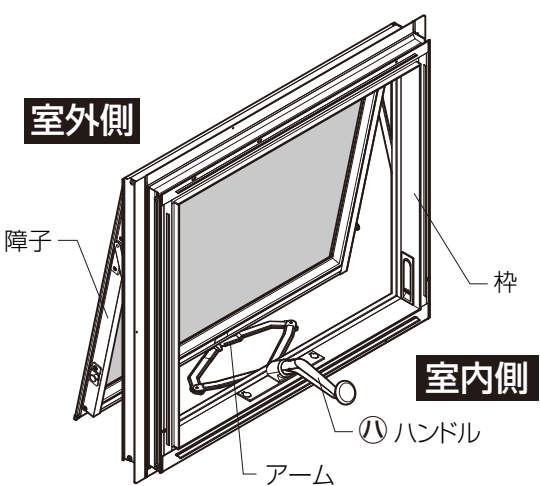
- ※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
- ①障子に付いているステーをいっぱいに関き、枠にねじで固定します。
- ※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
- ※障子取付けねじ④はサイズにより個数が異なります。
- ※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
- ※逆の手順で障子を取外せます。



②ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。



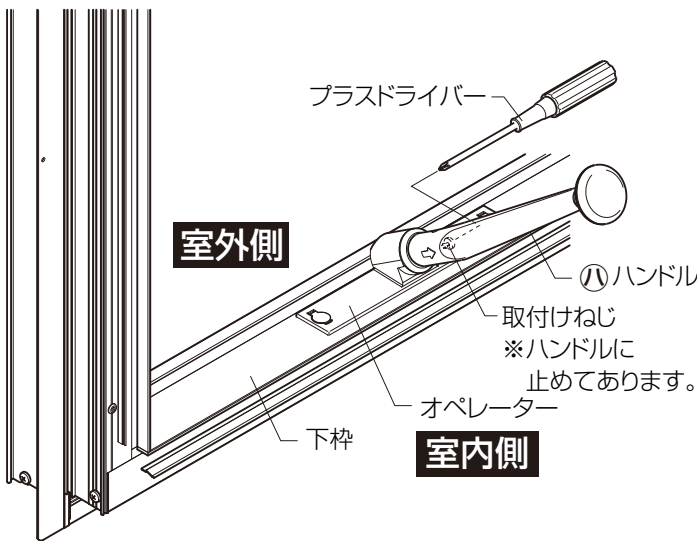
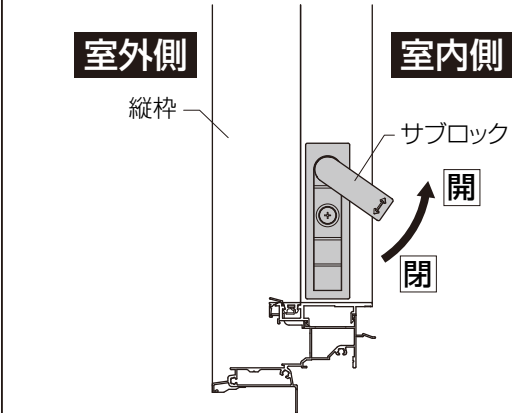
③ハンドルを回し、アームを伸ばして下枠と連結します。
※下枠のつまみを右へ回し、下からアーム先端のピンを差込んでください。



④ハンドルを回し、障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが横を向くように向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N・m{20±5kgf・cm}のトルクで止めてください。

■サブロックの開閉位置

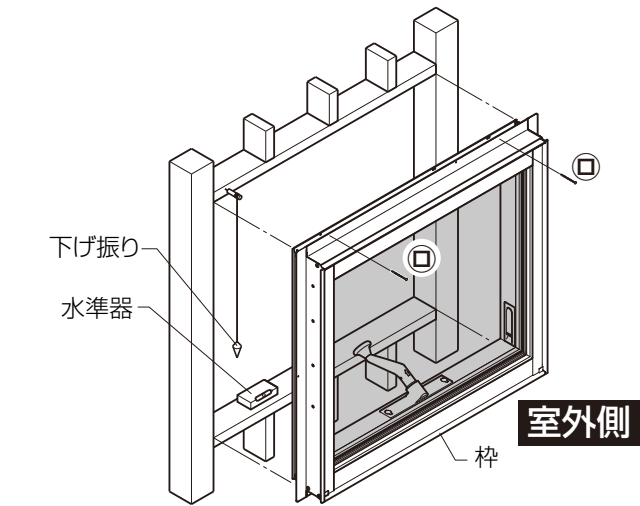
※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。



■枠取付け順序

1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

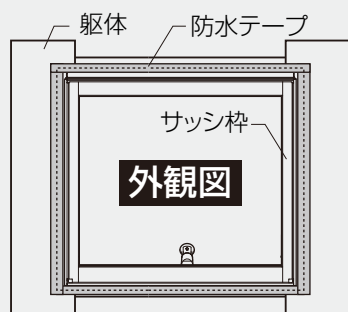
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

▲ 注 意

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

▲ 注 意

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



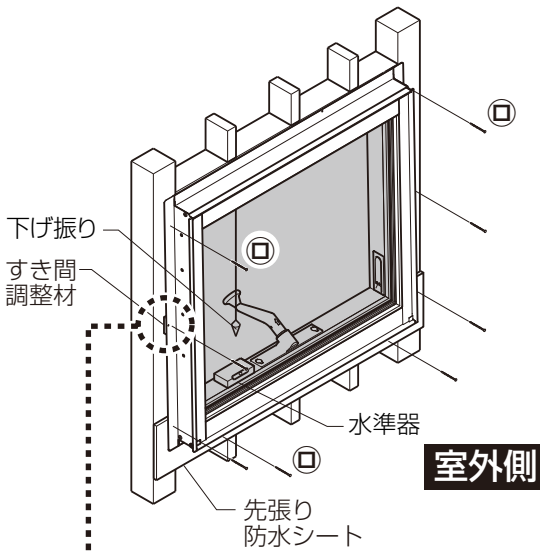
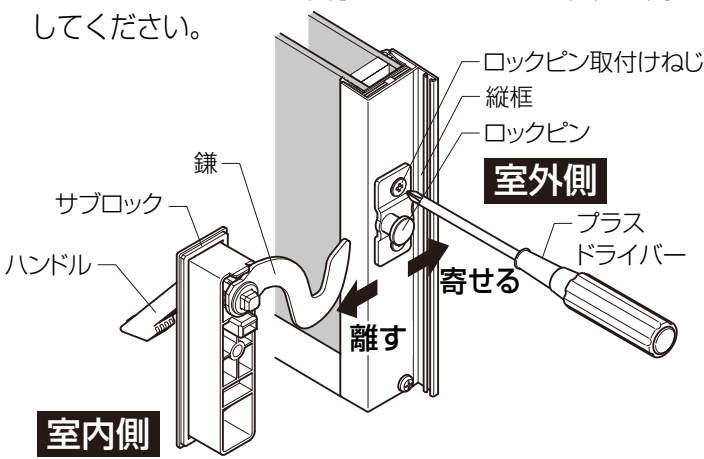
お願い

※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にこぼれ、開閉不良など不具合が発生することがあります。

■ロックピンの調整

●サブロックの鎌とロックピンが当りハンドルの操作が重いときは、ロックピン取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。



お願い

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

